



いわて医療通信【元気で人生を楽しむために】

## 4. 「口コモーティブ症候群」

### 口コモを引き起こす運動器の病気

今回は口「コモ」を引き起こす運動器の病気について説明していきます。

「立つ」「歩く」などの移動能力の低下、すなわち口コモを引き起こす運動器の病気は、主に膝や腰の加齢による変化が原因になります。機械も長年使うと歯車が減って調子が悪くなるように、年をとることで運動器もさまざまな変化が生じてきます。

膝は人が立ったり歩いたりするのに最も重要な関節です。膝で口「コモ」の原因に

なるのは「変形性膝関節症」という病気で、加齢によつて関節がすり減り、変形し、痛みのために立つたり歩いたりすることが困難になります。この病気の患者さんは非常に多く、日本では70歳以上の男性で5割、女性では実際に7割以上の方が膝の変形が起こっていると報告されています。変形や症状が軽いちは、痛みを和らげる飲み薬や関節注射が効果的です。また、運動による筋力訓練も薬と同じ効果があることが証

明されています。変形や症状が強く歩くのが困難な場合は、O脚を矯正したり、膝を人工の関節に取り替えたりする手術が行われ、高い効果があげられています。

一方、腰は人の体を支える背骨と両脚を支える骨盤との連結部分なので、背骨のなかで最も負担がかかる場所です。そのため加齢によって変形し、腰の痛みを和らげる効果的な方法として、腰痛に対する薬が発売されています。しかし症状が重く、歩行が困難になった患者さんで困ったことがあります。神経の圧迫を緩める手術が必要になります。

この状態が「変形性脊椎症」です。さらに神経が圧迫されることがありますので、

近くの整形外科開業医の先生に相談されることをお勧めします。最後になりますが、4回の連載をお読みいただきありがとうございました。

岩手医科大学附属病院  
整形外科

田島吾郎

